

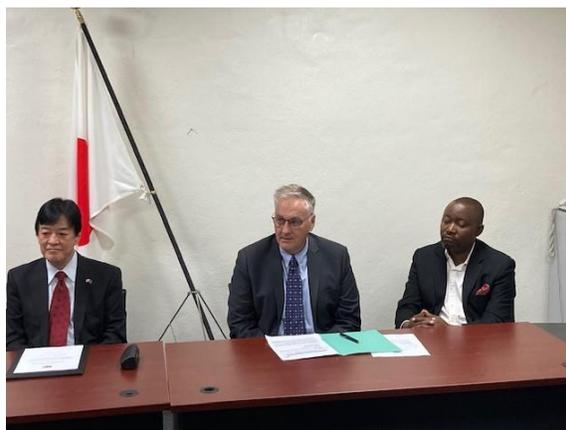
草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和4年度「リロングウェ県ムスガ小学校整備計画」署名式

2022年10月21日



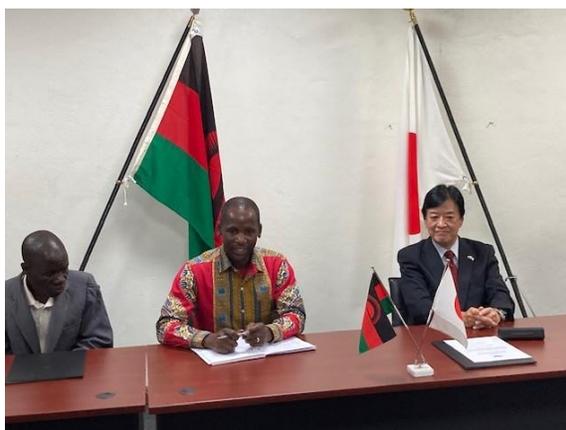
チリンディザ校長スピーチ



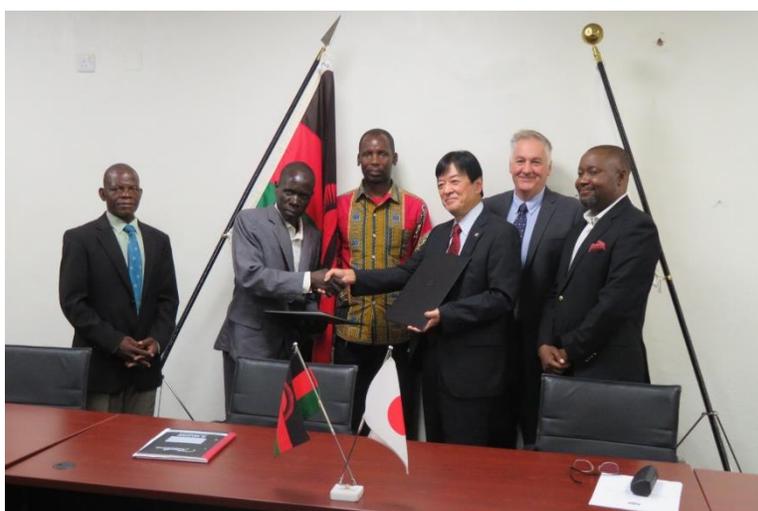
JTIリーフ・マラウイ社ガウナ社長スピーチ



岩切大使スピーチ



教育省マジ教育局長スピーチ



贈与契約書の交換を行う岩切大使とガリモトSMC会長

2022年10月21日、岩切敏大使とムスンガ小学校の学校運営委員会ギフト・ガリモト会長は、「リロングウェ県ムスンガ小学校整備計画」に関する草の根・人間の安全保障無償資金協力贈与契約を締結しました。計画では実施団体である「ムスンガ小学校」に対して63,725米ドル（約65百万クワチャ）を上限とする資金贈与を行います。

ムスンガ小学校は1978年に設立され、学区には76の村があり、2,300人以上の子供たちが通学しています。現在の学校インフラは不十分で、一部の子供たちは木の下で学び、トイレも教員宿舎も十分ではありません。そのため、特に雨季や寒い季節に退学率が高くなっていました。

当計画では、施設の不足によって引き起こされる退学を減らすため、同校に2つの教室、2つのトイレと女子更衣室を建設することで学習環境の改善を行います。

式典で大使は、ムスンガ小学校の教師と学校運営委員会が学習環境を改善するための積極的な取り組みを称賛するとともに、日本のタバコ会社であるJTIリーフ・マラウイ社が同地域での児童労働の解消のため取り組んできた教室、トイレ、管理棟、水道システムなどの建設について賛辞を贈りました。

また、大使は学校に対して、計画実施へ向けた積極的な関与と資金が計画どおりに活用されることを求め、署名式に臨席した教育省基礎教育局ラブソン・マジ局長に対して、計画の成功のために中央政府及び地方政府からの協力を求めました。